

第4回小中学校のあり方を考えるワークショップを開催しました

5月11日(土)に第4回小中学校のあり方を考えるワークショップを開催しました。3月をもってファシリテーターの静岡大学教育学部島田准教授が退任されたため、今回のワークショップでは、教育委員会がファシリテーターを務めました。

教育委員会から、現在の小学校児童数の状況を説明し、「今後、再度の統合が必要かどうか。それとも、現状維持か。また統合する場合、賀茂小学校又は仁科小学校の既存校舎を使用するか」について、グループで協議しました。



B 班	統合	最短で統合 既存施設のどこを使用するかは未定
C 班	統合	複式学級対策 同級生がいらないため友だちづくりや競い合うことも大切 遊びが限られる 通学ストレスがかからない距離で
	現状維持	通学に時間がかかる 人数が多いといじめが増える 少人数でも ICT 教育を駆使して教育ができる 学力差に細やかな指導ができる 複式学級のデメリットが明確でない
D 班	統合	多い人数で育った方がよい
	現状維持	数回統合がある中で何度もやる必要はない